

事業所名 放課後等デイサービス

公表日

令和7年 3月31日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	8	1	・児童・生徒の特性に合わせて、支援室の広さやレイアウトを工夫しています。また、児童の特性において、環境の変化が影響する場合は、固定の支援室を使います。
	②	職員の配置数は適切であるか	9	0	・支援員の入れ替えが多くなり、新たな担当者が同席する期間を適切に設け、保護者を交えた引継ぎを行っています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	0	・本館玄関の開き扉に、ロングサイズのドア指挟み防止ストッパーを設置し、子どもの座り位置から立ち上がり位置まで広範囲にカバーしています。 ・子どもの安全に配慮して必要な設備の改修をしています。
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9	0	・支援者は、利用者及び保護者の願いを確認し作成した、個別支援計画をもとに療育を行い、定期的に保護者とのモニタリングを行うとともに、支援工夫改善に繋いでいます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	0	・保護者による事業所評価は、定期的に行っています。また、日々の療育の機会でも保護者の声を聞き取り、保護者の声を真摯に受け止めて業務改善に繋いでいます。
	⑥	この自己評価の結果を、事務所の会報やホームページ等に公開しているか	9	0	・保護者会で伝達するほか、ホームページに自己評価の結果を公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8	0	・本事業所の業務による評価をし、業務改善につなげています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	0	・本年度、放課後等デイサービスふれもでは法人内研修（ABA研修）において6ヶ月に渡り提案を行っています。グループ療育と個別の支援を連携させた取り組みを発表しています。
適	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	・昨年度から相談支援センターの機能を持ちました。相談支援専門員と支援者の情報共有が密となり、保護者のニーズをより適切に支援に生かせるようになりました。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	0	・放課後等デイサービスふれも職員による各種検査（K-ABC、ウィスク等）で利用者の特性を把握し、結果を保護者と共有しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	0	・個別支援計画作成会議を定期的で開催して、個別支援プログラムを作成し、支援チームで月毎のテーマも入れた年間プログラムを作成しています。

切 な 支 援 の 提 供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	0	・常に子どもの実態を把握して、課題や興味にあわせた教材選び、その都度プログラムの内容を検討しながら進めています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9	0	・個別支援計画の中で、利用者の実態を把握し、保護者と相談し、課題の工夫に努めています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	・各種検査を実施して利用者の特性を把握し、保護者と協議することで、個別支援と集団支援を取り入れた計画の立案と作成を実施しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	0	・各職員が支援内容の理解と把握に努め、充実した支援を行う為に打ち合わせや療育の準備、振り返りの時間の確保に努めて支援向上に努めています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	0	・支援終了後には、同席の保護者と療育について振り返るとともに、個別の評価を行い、次の支援の計画づくりに役立てています。
3 適 切 な 支 援 の 提 供	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	0	・個別の療育について、終了後に記録をしています。また、支援の検証を次に繋がるように心がけています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	0	・相談支援専門員と事業所によるモニタリングをそれぞれ年2回以上行い、支援計画の見直しをしています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	9	0	・ガイドラインの総則基本活動の自立支援と日常生活の充実のための提案ができる活動の複数を組み合わせさせて支援を行っています。社会性の向上に繋がるような活動を取り入れるようにしています。
4 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	0	・相談事業所の行うケース会議には、児童発達支援管理者及び、支援担当職員が参画しています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	1	・学校との情報共有は、小・中学校のケース会議や保護者との話し合いのもとに学校訪問や連絡帳を通して行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連携体制を整えているか	9	0	・現在、医療的ケアが必要な子どもは通所していません。親子での来所が原則なので、パニックを起こしがちな子どもは保護者にケアをお願いしています。職員は保護者と連絡を密に保護者の意見に寄り添い療育を共有しています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	・当該保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等などと必要に応じて連携を取り、支援に努めています。
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	9	0	・現在、障害福祉サービス事業所等へ移行するケースはありません。事業所では、児童・生徒の支援内容を提供し、スムーズな移行ができるよう連絡、連携に努めます。	

関係機関や保護者との連携	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	0	・職員のキャリアや興味に応じて専門機関と連携をとり、積極的に外部の専門研修などを受講しています。
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	2	・子ども達は、小学校、中学校等で障害のない子ども達と普段交流しています。更に、コロナ感染症が5類に移行となり、子どもたちの交流が活発になってきました。
	②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	8	1	・自立支援協議会児童支援部会事務局として、CASと連携のもと役割を果たしながら、他事業所との情報交換や療育の動向を把握し、子供たちが暮らしやすい地域づくりをしています。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0	・支援の際には、保護者の同席をお願いし、支援後には保護者から感想等を聞き取り、必要であれば支援に繋いでいます。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援をおこなっている	9	0	・保護者の対応力向上をはかるために、子育てサポートや家族支援をペアレントトレーニングや面接を通しておこなっています。また、個別支援計画に明記し、計画的に家族支援が行われるようにしています。
	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	0	・児童発達支援管理者から、利用手続きや、利用者負担額等について、分かりやすく丁寧な説明をしています。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	・6ヶ月ごとに、個別の支援計画を見直す機会として、モニタリングを行なっています。その際に、悩みの相談に応じて必要な助言等も行います。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9	0	・年2回4月、12月に保護者会を実施しています。4月の保護者会はコロナ感染予防対策を行い開催しました。参加出来なかった保護者には会の内容を含め、保護者同士の連携を深めるように支援しています。 ・保護者主体の「ママ・パパ会」を随時開催し、事業所として支援しています。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	運営方針やぶれもの理念等をご理解いただくとともに、悩み相談や情報交換を行います。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	0	・「ぶれもだより」(広報紙)を毎月保護者宛に発行しています。活動の概要や行事予定、支援の啓発を載せています。
	③5	個人情報に十分注意しているか	9	0	・事業所内で個人情報保護・漏洩防止について、PCのHD及びUSB(記憶媒体)の管理に配慮しています。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	・支援の際には、保護者の同席をお願いし、支援後には保護者から意見等を聞き取り、支援に繋いでいます。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	2	・地区長とも地域の情報を共有しています。災害時等を含め地域の皆さんと連携を図り、交流機会検討を更に深めています。

保護者への説明等

③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	0	・業務継続計画（自然災害・感染症）・各種緊急時対応マニュアルを保護者待合室に置き、いつでも閲覧できます。
③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0	・職員の入れ替わりが多かったこともあり、計画に基づいて、緊急事態を想定した避難訓練を毎月実施しています。訓練は事前に通告することで、事業所内の職員が研修することを優先しています。
④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	0	・虐待防止委員会を立ち上げ年間計画に沿って研修を進め、職員一人一人が意識向上に努めています。 ・現在、事業所独自の身体拘束はありません。
④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9	0	・療育時は基本親子の参加であり、身体拘束的対応が必要なケースでは保護者が身体拘束することになりますので、事業所としての身体拘束事案はありません。
④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	0	・構音指導で使う食品については、医師の指示書に基づき、個別で対応しています。 ・現状で、アレルギーのある子どもはいません。
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	0	新規職員とヒヤリハットの必要性について研修をして意識を高めています。記録用紙をもとに職員で情報について共有し、今後も事業所来所時の事故防止を常に意識するようにします。